

④3 大本山永平寺拠点計画

計画作成・実施体制

文化観光拠点施設(設置者):
大本山永平寺(宗教法人大本山永平寺)
文化観光推進事業者:
福井県 福井県観光連盟 株式会社輝峰 禅の里まちづくり協議会
ふくいArts and Residenceプロジェクト実行委員会

計画期間

令和4年度～令和8年度(5年間)

目標

- ・来訪者の満足割合 2022年度 38%→2026年度 50%
- ・国内来訪者数
2019年度(コロナ前) 48.6万人→2026年度 60万人(1.23倍)
- ・外国人来訪者数
2019年度(コロナ前) 15千人 →2026年度 16.5千人(1.1倍)
※10年後(2031年度)には30千人(2倍)
- ・来訪者消費単価 2022年度 2,300円 → 2026年度 5,000円 (2.17倍)

文化観光拠点施設機能強化事業

<1.文化資源の魅力の増進>

- ・永平寺の魅力を分かり易く伝える映像コンテンツの作成
「禅文化」を深く理解できる交流法話会の実施

<2.文化についての理解促進>

- ・永平寺の文化的価値・魅力を正しく伝える禅コンシェルジェ育成

<3.文化観光に関する利便の増進>

- ・文化資源の詳細情報をWeb連動で表示する仕組みづくり

<4.飲食、販売、宿泊等との連携の促進>

- ・門前町である禅の里で提供する精進料理や、地元食材を使った
伝統料理をもとにしたオリジナルメニューの開発

<5.国内外への宣伝>

- ・「ふくいドットコム」等での情報発信や体験プログラムの販売支援

<6.施設又は設備の整備>

- ・ICTを活用する為のWi-Fi等の通信環境の整備

文化観光推進事業費(5年間の計画ベース)

272.25百万円(うち、文化観光推進事業補助金163.5百万円)

計画区域

永平寺町 禅の里



門前町(禅の里)

販売施設

飲食施設

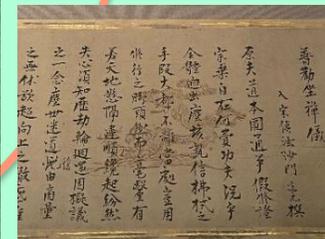


親禅の宿 柏樹関



<永平寺町>

大本山永平寺
七堂伽藍(重要文化財)



瑠璃聖宝閣
(国宝 普勧坐禅儀)

中核文化観光拠点施設
(主要な文化資源)

主要な文化資源
(文化財等の種類)

飲食施設
販売施設

宿泊施設
その他施設